

地球温暖化対策実施状況報告書

2019 年 7 月 1 日

（報告先）
横浜市長

住所 〒450-0002
名古屋市中村区平池町四丁目60番地12
株式会社トヨタオートモールクリエイト
氏名 ト
代表取締役社長 河合 利夫

（法人の場合は、名称及び代表者の氏名）

横浜市生活環境の保全等に関する条例（以下「条例」という。）第144条第2項の規定により、次のとおり報告します。

1 地球温暖化対策事業者等の概要

事業者の氏名又は名称 （代表者の氏名）	株式会社トヨタオートモールクリエイト 代表取締役社長 河合 利夫				
事業者の主たる 事業所の所在地	名古屋市中村区平池町四丁目60番地12				
主たる事業の業種	大分類	K 不動産業、物品賃貸業			
	中分類	69 不動産賃貸業・管理業			
該当する 事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例施行規則（以下「規則」という。）第89条第1項第1号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	規則第89条第1項第2号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	規則第89条第1項第3号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	地球温暖化対策事業者以外の事業者（任意提出事業者）			
	原油換算エネルギー使用量	2,730	kl	自動車の台数	台

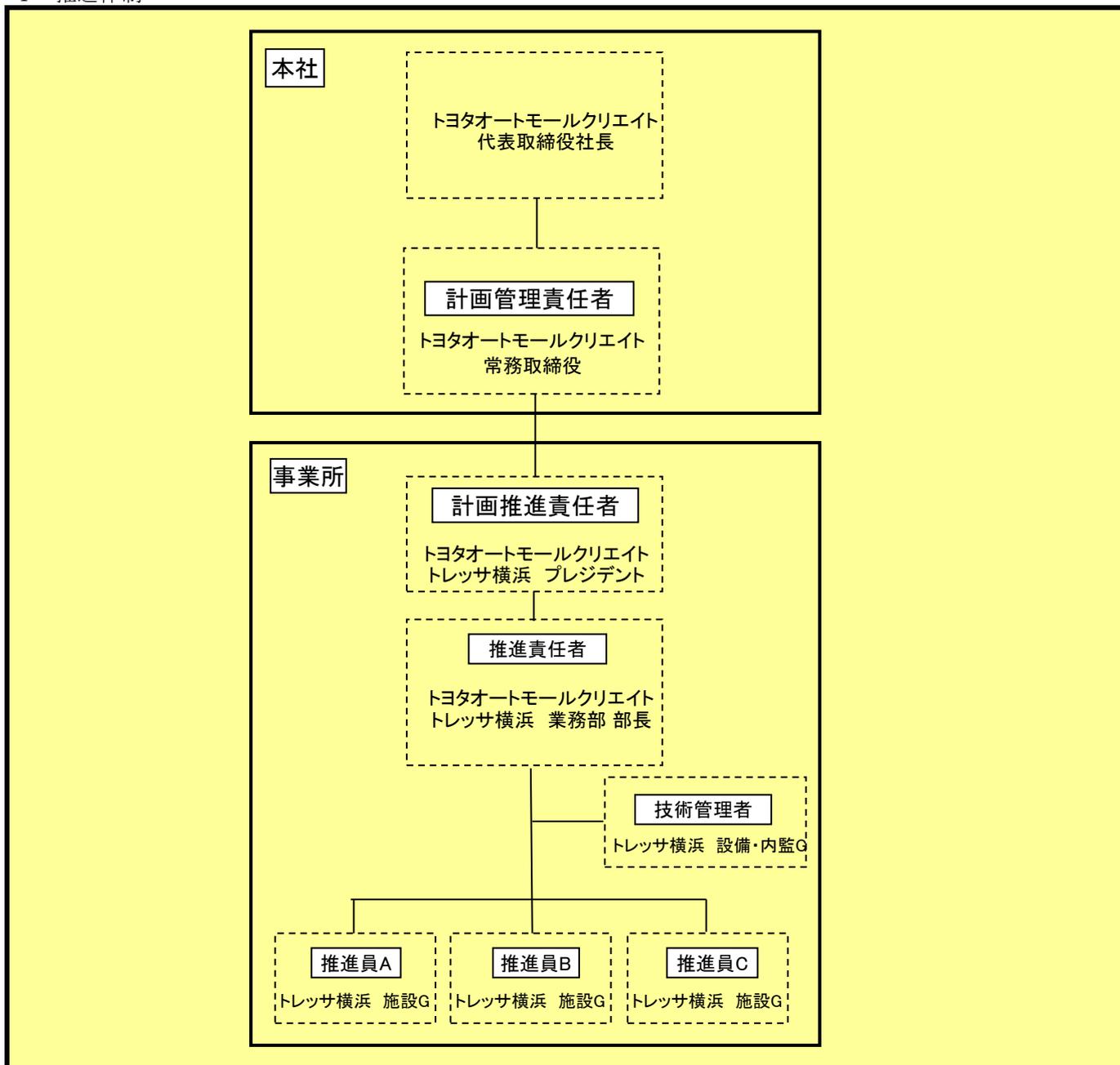
2 計画期間及び実施年度

計 画 期 間	2016	年度 ~	2018	年度	実 施 年 度	2018	年度
---------	------	------	------	----	---------	------	----

3 温室効果ガスの排出の抑制等を図るための基本方針

<p>1. 事業所での省エネの取組みにより、平成30年度までにCO2排出量を2.6%削減する。</p> <p>(1) 館内照明のLED化（共用部・専用部） 2016年6月1日～7月末 共用部・一部専用部LED化工事実施済み。 2017年以降については、LED化箇所選定中の為、スケジュールは無し。</p> <p>(2) 冷温水2次ポンプのインバータ制御導入の検討 現時点では検討中となっている為、スケジュールは無し。</p> <p>2. 事業所近隣地域でのリサイクル活動・クリーン活動の実施 毎月1回 月末に実施。</p> <p>3. 事業所社員・入店テナントに対して、環境意識向上のための啓発活動 バックヤードエリアにおいてPOPの掲示を実施。</p>

4 推進体制



5 公表の方法等

ホームページ	アドレス	
窓口で閲覧	閲覧場所	トレッサ横浜 サポートセンター
	所在地	横浜市港北区師岡町700番地
	閲覧可能時間	10:00～19:00
冊子	冊子名	
	入手方法	
その他		

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

6の1 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第1号及び第2号該当事業者）

基準年度 (2015年度)	基準排出量	5,439	t-CO ₂				基準原単位		t-CO ₂ /	
	調整後	5,342	t-CO ₂				目標原単位		t-CO ₂ /	
目標年度 (2018年度)	目標排出量	5,300	t-CO ₂	削減率	2.6 %	目標原単位	削減率		%	
排出の抑制に係る目標の設定の考え方	平成30年度までにCO2排出量を2.6%削減するため、下記の設備導入・更新を検討する ①トレッサ横浜では、店舗内ダウンライト照明のLED化 ②トレッサ横浜では、冷温水2次ポンプのインバータ化									
事業者全体としての目標等	同上									
第一年度 (2016年度)	排出量	5,318	t-CO ₂	削減率	2.2 %	排出原単位		t-CO ₂ /		
	調整後	5,171	t-CO ₂	削減率	3.2 %		削減率		%	
目標等の達成状況及び説明	①トレッサ横浜では、館内照明 共用部の一部エリアLED化を実施。 ⇒平成28年6月～8月LED照明器具の導入を実施。 ②トレッサ横浜では、館内照明 販売店のLED化を実施。 ⇒平成28年6月～8月LED照明器具の導入を実施。									
第二年度 (2017年度)	排出量	5,269	t-CO ₂	削減率	3.1 %	排出原単位		t-CO ₂ /		
	調整後	4,946	t-CO ₂	削減率	7.4 %		削減率		%	
目標等の達成状況及び説明	①トレッサ横浜では、館内照明 共用部の一部エリアLED化を実施。 ⇒平成30年3月LED照明器具の導入を実施。									
第三年度 (2018年度)	排出量	5,492	t-CO ₂	削減率	▲ 1.0 %	排出原単位		t-CO ₂ /		
	調整後	5,025	t-CO ₂	削減率	5.9 %		削減率		%	
目標等の達成状況及び説明	①トレッサ横浜では、館内照明 共用部の一部エリアLED化を実施。 ⇒2019年3月LED照明器具の導入を実施。									
計画期間全体の排出状況に関する説明	館内のLED化も進み共用部での地球温暖化対策は進みました。 店舗の入退店での変動が激しい為、結果とし第三年度が第二年度より排出量が増えてしまった。 今後は、共用部だけでなく各店舗の照明をLED化や空調設備のインバーター制御化等を含め地球温暖化対策への取組みに勤しんで参ります。									

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

6の2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第3号該当事業者）

基準年度 （年度）	基準排出量		t-CO ₂			基準原単位		t-CO ₂ /
	調整後		t-CO ₂				t-CO ₂ /	
目標年度 （年度）	目標排出量		t-CO ₂	削減率	%	目標原単位	削減率	%
排出の抑制に係る目標の設定の考え方								
事業者全体としての目標等								
第一年度 （年度）	排出量		t-CO ₂	削減率	%	排出原単位		t-CO ₂ /
	調整後		t-CO ₂	削減率	%		削減率	%
目標等の達成状況及び説明								
第二年度 （年度）	排出量		t-CO ₂	削減率	%	排出原単位		t-CO ₂ /
	調整後		t-CO ₂	削減率	%		削減率	%
目標等の達成状況及び説明								
第三年度 （年度）	排出量		t-CO ₂	削減率	%	排出原単位		t-CO ₂ /
	調整後		t-CO ₂	削減率	%		削減率	%
目標等の達成状況及び説明								
計画期間全体の排出状況に関する説明								

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

7 事業所等における温室効果ガスの排出状況

事業所等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO ₂)						
3,000k l 以上								
1,500k l 以上 3,000k l 未満	1	5,439	1	5,318	1	5,269	1	5,492
500k l 以上 1,500k l 未満								
500k l 未満								
合計	1	5,439	1	5,318	1	5,269	1	5,492

8 自動車における温室効果ガスの排出状況

自動車の区分	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	台数(台)	排出量の 合計(t-CO ₂)						
普通貨物自動車								
小型貨物自動車								
大型バス								
マイクロバス								
乗用自動車								
合計								
低公害かつ低燃費な車の 導入割合(%)		%		%		%		%

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

9の1 重点対策の実施状況（第1号及び第2号該当事業者）

重点対策	実施状況の判断を行う単位	基準年度	第一年度					第二年度					第三年度								
			対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	
第1号及び第2号該当事業者	1	推進体制の整備	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度			
	2	主要なエネルギー使用設備の更新等の検討	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度			
	3	機器管理台帳の整備	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度			
	4	照明設備の運用管理	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度			
	5	エネルギー使用量の把握	個別票対象事業所	実施済	実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度			
	6	各種図面の整備	個別票対象事業所	非該当	非該当	/	—	年度	ボイラー・空気圧縮機無し	非該当	/	—	年度	ボイラー・空気圧縮機無し	非該当	/	—	年度	ボイラー・空気圧縮機無し		
	7	外気導入量の適正管理	個別票対象事業所	実施済	実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度			
	8	フィルター等の清掃	個別票対象事業所	実施済	実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度			
	9	ポンプ、ファン及びブロワーの適正な流量管理	個別票対象事業所	実施済	実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度			
	10	変圧器の需要率管理、効率管理	個別票対象事業所	実施済	実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度			
	11	室内温度の適正管理	事業所	実施済	実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度			
	12	地下駐車場の換気管理	事業所	非該当	非該当	/	—	年度	地下駐車場無し	非該当	/	—	年度	地下駐車場無し	非該当	/	—	年度	地下駐車場無し		
	13	照明設備の高効率化	事業所	実施済	実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度			
	14	事務所機器の待機電力管理	事業所	実施済	実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度			
	15	機器性能管理	設備	実施済	非該当	(設備の種類) /	—	年度	東京電力エナジーパートナー拠資産	非該当	(設備の種類) /	—	年度	東京電力エナジーパートナー拠資産	非該当	(設備の種類) /	—	年度	東京電力エナジーパートナー拠資産		
	16	冷凍機の冷水出口温度管理	設備	実施済	非該当	(設備の種類) /	—	年度	東京電力エナジーパートナー拠資産	非該当	(設備の種類) /	—	年度	東京電力エナジーパートナー拠資産	非該当	(設備の種類) /	—	年度	東京電力エナジーパートナー拠資産		
	17	燃焼設備の空気比管理	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	対象設備無し	非該当	(設備の種類) /	—	年度	対象設備無し	非該当	(設備の種類) /	—	年度	対象設備無し		
	18	排出ガス温度の管理	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	対象設備無し	非該当	(設備の種類) /	—	年度	対象設備無し	非該当	(設備の種類) /	—	年度	対象設備無し		
	19	蒸気配管のバルブ等の保温	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	対象設備無し	非該当	(設備の種類) /	—	年度	対象設備無し	非該当	(設備の種類) /	—	年度	対象設備無し		
	20	工業炉表面の断熱強化	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	対象設備無し	非該当	(設備の種類) /	—	年度	対象設備無し	非該当	(設備の種類) /	—	年度	対象設備無し		
	21	コンプレッサの吐出圧の適正化	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	対象設備無し	非該当	(設備の種類) /	—	年度	対象設備無し	非該当	(設備の種類) /	—	年度	対象設備無し		
	22	コンプレッサの吸気管理	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	対象設備無し	非該当	(設備の種類) /	—	年度	対象設備無し	非該当	(設備の種類) /	—	年度	対象設備無し		

9の2 重点対策の実施状況（第3号該当事業者）

重点対策	実施状況の判断を行う単位	基準年度	第一年度					第二年度					第三年度				
			対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数
第3号該当事業者	23	推進体制の整備	事業者全体(市内分)	/	—	年度		/	—	年度		/	—	年度			
	24	自動車の適正な使用管理	事業者全体(市内分)	—	/	年度		—	/	年度		—	/	年度			
	25	エネルギー使用量等に関するデータの管理	事業者全体(市内分)	—	/	年度		—	/	年度		—	/	年度			
	26	エコドライブ推進体制の整備	事業者全体(市内分)	/	—	年度		/	—	年度		/	—	年度			
	27	自動車の適正な維持管理	事業者全体(市内分)	/	—	年度		/	—	年度		/	—	年度			

10 目標対策及び事業者の発意による対策の実施状況

- （注意事項） ・ 対策の効果が重複して計上されない様にご注意ください。
 ・ 燃料・熱・電気等の使用量は、一年間での値に換算して記入してください。
 ・ 記載欄が不足する場合は、横浜市へご連絡ください。

		削減量合計 事業者総排出量		事業者総排出量 (t-CO2)		CO2排出量合計① (t-CO2)		CO2排出量合計② (t-CO2)		削減量合計 (t-CO2)					
		2.56 %		5,492		5,564.6		5,423.8		141					
連番	具体的な対策	事業所名	対策の実施年度 (西暦)	実施前				実施後				削減量 □(t-CO2)	投資金額		
				実施前の運用状況/設備状況	燃料・熱・電気等の使用量			CO2排出量 (t-CO2)	実施後の運用状況/設備状況	燃料・熱・電気等の使用量				CO2排出量 (t-CO2)	
					種別	使用量	単位			種別	使用量				単位
1	①トレッサ横浜では、館内照明共用部・販売店の一部エリアLED化を実施。 ⇒2016年6月～8月LED照明器具の導入を実施。	トレッサ横浜	2016	照明は蛍光灯や水銀灯タイプを使用していた。	昼間買電	6,859	千kWh	3511.8	LED照明器具導入後は、昼間電気使用量減少となった。	昼間買電	6,641	千kWh	3,400.2	122.9	千円
					夜間買電	3,911	千kWh	2002.4		夜間買電	3,889	千kWh	1,991.2		
2	①トレッサ横浜では、館内照明（専用部の一部）のLED化を実施 ⇒2018年3月LED照明器具の導入を実施。（201灯実施）	トレッサ横浜	2017	照明は蛍光灯を使用していた。	昼間買電	32	千kWh	16.2	LED照明器具導入後は、昼間電気使用量減少となった。	昼間買電	20	千kWh	10.5	6.7	千円
					夜間買電	6	千kWh	2.9		夜間買電	4	千kWh	1.9		
3	①トレッサ横浜では、館内照明（専用部の一部）のLED化を実施 ⇒2019年3月LED照明器具の導入を実施。（317灯実施）	トレッサ横浜	2018	照明は蛍光灯を使用していた。	昼間買電	52	千kWh	26.5	LED照明器具導入後は、昼間電気使用量減少となった。	昼間買電	33	千kWh	17.1	11.1	千円
					夜間買電	9	千kWh	4.7		夜間買電	6	千kWh	3.1		
														千円	
														千円	

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

11 再生可能エネルギー利用設備等の導入状況

番号	設備機器の種類	導入年度	性能等	備考
1	高効率空冷式ブラインチラー	2007年度	COP冷凍追掛2.97 冷凍蓄熱2.94	削減電力量0%
2	ヒートポンプチラー	2007年度	COP冷凍追掛2.83 冷凍蓄熱2.90	削減電力量0%
3		年度		
4		年度		
5		年度		

12 クレジット等に関する取組状況

番号	種類	年度	オフセット対象範囲	特定温室効果ガス換算量	備考
1	電気の使用	2018年度	横浜市内事業所	467	東京電力エナジーパートナー(株)
2		年度			
3		年度			
4		年度			
5		年度			

13 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度までの対策	<ul style="list-style-type: none"> ・壁面緑化（財団法人都市緑化技術開発機構 屋上壁面特殊緑化部門 国土交通大臣賞受賞） ・近隣地域クリーン活動（毎月1回） ・エコキャップ回収 ・事業所社員・入店テナントに対して、環境意識向上の為の啓発活動
計画期間内に実施する対策	<ul style="list-style-type: none"> ①館内加湿量の適正化による水道使用量の削減 ②事業所社員・入店テナントに対して、環境意識向上の為の啓発活動
第一年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ①館内加湿量の適正化による水道使用量の削減 ②事業所社員・入店テナントに対して、環境意識向上の為の啓発活動
第二年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ①館内加湿量の適正化による水道使用量の削減 ②事業所社員・入店テナントに対して、環境意識向上の為の啓発活動
第三年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ①館内加湿量の適正化による水道使用量の削減 ②事業所社員・入店テナントに対して、環境意識向上の為の啓発活動

14 実施状況等に対する自己評価

長期計画にてPACの更新を計画実施中です。省エネを考えたPACの選定を行い地球温暖化について考えています。
PACだけでなく照明の方もLED化を進めていきたいです。現在、空調設備のインバータ制御導入を検討中です。空調設備の効率化による省エネも視野に入れていきます。